

議会だより

つるい



幌呂小学校開校100周年記念式典祝賀会

「幌呂の歌」を唄う小中学生



TOPICS

- 12月定例会の中身は? P2
- 8議員が村政を問う！一般質問 P6
- 総務常任委員会 幌呂保育園の統合 . . . P16
- 産業常任委員会 キラコタン岬観光 . . . P18
- 道内行政視察研修 P20



鶴居村マスコットキャラクター
「つるぼー」

定例会 主な内容

12月定例会のあらまし



松井広道議長

第4回定例会は12月10日に開会し、11日に閉会しました。村長からの提出議案は16件で、内訳は専決処分1件、条例改正7件、補正予算5件、そ

の他3件です。議員発議は選挙1件、条例案1件、意見書2件、請願1件です。請願を除き、原案通り可決されました。一般質問では、8議員が15項目の質問で村政を問いました。

▽ 人事院勧告により 給与や報酬、期末手当を増額

国は令和元年人事院勧告により、6年連続となる国家公務員一般職の月給とボーナスの引き上げを決めました。月給の引き上げは、初任給と30代半ばまでの若手職員を対象としています。本村も村職員の月給と期末手当を引き上げます。また、議会議員の期末手当と、村長・副村長・教育長の期末手当も引き上げます。

改定内容

- ▷ 村職員（63人） 月給引上げ 平均0.1%
期末手当引上げ 年間4.45月分を
年間4.50月分に改定
- ▷ 議会議員（9人） 期末手当引上げ 年間4.45月分を
年間4.50月分に改定
- ▷ 特別職（3人） 期末手当引上げ 年間4.45月分を
年間4.50月分に改定
(村長・副村長・教育長)

▽ 指定管理者 の指定

指定期間の満了を迎える施設の指定管理者が指定されました。

地域特産品等販売促進施設「鶴居たんちょうプラザ」
指定管理者：株式会社 鶴居村振興公社
代表取締役 山田秀明
指定期間：令和2年4月1日から3年間

パークゴルフ場
指定管理者：株式会社 鶴居村振興公社
代表取締役 山田秀明
指定期間：令和2年4月1日から5年間

▽ 農業委員会の 委員定数を削減

農業委員会の委員定数を10人から9人に削減します。

釧路管内の農業委員と議会議員の定数（人）

町村名	農業委員定数	議会議員定数
鶴居村	10 → 9	9
釧路町	6	16
厚岸町	14	13
浜中町	13	12
白糠町	9	13
標茶町	16	13
弟子屈町	12	12
釧路市	21	28

人事院勧告で6年連続給与が増加

令和元年度各会計補正予算

会計別	補正額	総額	議決の内容
一般会計	2925万1千円	55億2419万5千円	全員賛成により可決
水道特別会計	0千円	5546万0千円	全員賛成により可決
国民健康保険特別会計	4万1千円	3億7226万8千円	全員賛成により可決
診療所特別会計	19万3千円	8289万3千円	全員賛成により可決
介護保険特別会計	1万8千円	2億9166万0千円	全員賛成により可決

▽ 選挙管理委員会委員 と同補充員の選挙

任期満了にともない選挙管理委員会委員と補充員の選挙を行いました。

委員(4名) 任期令和元年12月23日から4年間

氏名	年齢	所属政党
渡辺 巖	75	無所属
相馬 壽美枝	73	無所属
岩崎 幸市	71	無所属
松井 基廣	67	無所属

補充員(4名) 任期令和元年12月23日から4年間

氏名	年齢	所属政党
第一順位 泉 哲哉	60	無所属
第二順位 齋藤 忠	46	無所属
第三順位 佐藤 利光	44	無所属
第四順位 齋藤 欣巳	44	無所属

IP告知端末の スマホアプリ登場

IP告知端末の情報が、自分のスマートフォンやタブレットなどのアプリで見られるようになりました。



アプリストアで「JC-Smart」と検索するか、下記のQRコードを読み取ってアプリをダウンロードして下さい。



定例会 主な質問

補正予算や条例改正の ここが聞きたい

定例会 議案賛否

12月定例会 審議した議案と結果

上程議案	賛成：○ 反対：×	結果	松井俊治	東隆行	松井洋和	佐藤吉人	及川満浩	吉田保博	大津泰則	秋里広志	松井広道
選挙											
選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙 任期4年の選挙管理委員会委員4人と補充員4人を議会で選挙		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
協議											
釧路広域連合を組織する地方公共団体の数の増加及び規約の変更に関する協議 釧路広域連合（ゴミの共同処理）に厚岸町を加えることを釧路市、釧路町、厚岸町、弟子屈町、白糠町、鶴居村で協議		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例の制定・一部改正											
成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係条例の整備に関する条例の一部改正 成年被後見人等の権利に係る措置の適正化等を図るために関係する条例を整備		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鶴居村一般職員給与と条例の一部改正 人事院勧告による給与と条例の改正		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鶴居村特別職の職員の給与等一部改正 人事院勧告を参考にした給与の増額と新たに住宅手当を支給する改正		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鶴居村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定 新年度から始まる会計年度任用職員制度に関する条例の制定		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定 新年度から始まる会計年度任用職員制度に関する条例の一部改正		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正 災害弔慰金の償還金の支払い猶予に関する改正		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
農業委員会委員定数条例の一部改正 10人の委員定数を9人に改正		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
指定管理者の指定											
地域特産品等販売促進施設「鶴居たんちょうプラザ」の指定 継続して鶴居村振興公社に指定		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
パークゴルフ場の指定 継続して鶴居村振興公社に指定		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度補正予算											
一般会計（第4号） 主に各事業費の増額計上		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水道事業特別会計（第2号） 主に人事院勧告による人件費の増額計上		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険特別会計（第2号） 主に各事業費の増額計上		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
診療所特別会計（第1号） 主に人事院勧告による人件費の増額計上		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護保険特別会計（第2号） 主に各事業費の増額計上		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員発議案											
議会の議員報酬・期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正 人事院勧告を参考にした給与の増額		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願											
最低賃金と中小企業支援の拡充を求める意見書に関する請願 意見書（国に提出）											
診療報酬を引き下げず、地域医療を守ることを求める意見書		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地域医療構想に関する意見書		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○

（注）議長は賛否を表明しません。賛否同数の場合のみ議長採決として表明します。

▼農地の平均価格は
吉田保博議員
農業委員が村の農地の価格などを決めていますが、現在の農地の平均価格は、農業委員会事務局長

村内農地の売買価格は、毎年農業委員会では、毎年農業委員会標準地価格を決めており、雪裡地域で1㎡あたり54円、幌呂地域で1㎡あたり44円です。

▼支援教室の改修費
大津泰則議員
鶴居中学校で特別支援教室の改修費として500万円計上しているのは、

教育課長
次年度に鶴居中学校で特別支援教室が不足することが判明しました。現在、予備教室もない状態なので、給食室だったところを改修して教室を作ります。

▼PC内の個人情報
及川満浩議員
自治体の廃棄した情報機器から個人情報情報漏洩した事件があったが、本村での廃棄体制は、総務課長

村の情報機器関係を廃棄する場合は、リース終了返却時に村が専門業者に依頼し、中のデータを消去します。買い取りの場合も専門業者に委託しますが、処分証明書ももらっており、適正に処分しています。

▼IP告知のアプリ
松井洋和議員
IP告知端末の情報

総務課長
自分のスマホなどの情報端末から見ることで、できるアプリができたが、住民への周知は、今後、広く使ってもらえるようにHPや回覧板などで周知します。

▼チーズの増産
秋里広志議員
酪楽館でチーズの熟成庫を増築する設計を委託しているが、どのくらいの効果を予測しているか。

産業振興課長
現在、年間7tのチーズの製造を目指していますが、今回の増築で最大10tの製造が可能になり、売り上げも50%増を見込んでいます。

▼酪楽館の地盤調査
佐藤吉人議員
酪楽館の増築の設計委託で新たに地盤調査が必要理由は、

産業振興課長補佐
当初、酪楽館建設時の地盤調査結果を使う予定でしたが、今回の増築場所から距離が40m離れたため、新たな調査が必要になりました。

▼地域看板に補助
松井俊治議員
支雪裡の入り口に設置している地域看板に補助金を支出しているが、他地域の看板新設への補助は、

住民生活課長
地域看板の要望があれば、内容をお聞きしたうえで出来るだけ支援したいと考えています。

▼バスの故障
東隆行議員
たんちょうバスの故障により、急遽民間バスを手配しているが、故障の内容は、

教育課長
排気ガスを抑制するパイプにススが溜まり、アクセルを踏んでも加速しない状態になったため修理しました。たんちょうバスは平成22年に購入していますが、まだまだ使用出来る状態です。

新年のご挨拶



新年明けましておめでとうございます。
希望に満ちた新年をご家族お揃いで迎えられましたことを、謹んでお慶び申し上げます。
村民の皆さんには、日頃から村議会に対し深いご理解を賜り厚くお礼申し上げます。
鶴居村議会議長
松井広道



8人の議員が15項目の質問

村政のことが聞きたい

秋里 広志 議員	P7
①次期村長選挙への出馬は	
松井 洋和 議員	P8
①企業誘致を ②ワイン用ブドウの調査研究を	
吉田 保博 議員	P9
①地域交流施設は ②児童生徒のスマホ利用状況は	
東 隆行 議員	P10
①中幌呂分譲地の販売状況は	
及川 満浩 議員	P11
①地域公共交通網形成計画の協議体制は ②新教育長の教育方針は ③子どもの権利についての考えは	
佐藤 吉人 議員	P12
①キラコタン岬のトイレ改修を ②「みなくる」の展示物見直しを ③鶴居軌道を動かしては	
松井 俊治 議員	P13
①エゾシカの牧草被害対策として鹿柵設置を	
大津 泰則 議員	P14
①役場の機構改革は ②ワインの今後の計画設計は	

一般質問とは、議員が村の行財政全般にわたって、執行機関（村長・教育長）に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。
紙面の都合により、内容を要約して掲載しています。

大石村長3期目の出馬は

村長 3期目の村長選に立候補する

秋里

平成28年4月に2期目の大石村長の就任を迎え、春には任期満了の4年が経過しようとしています。

村長は就任以来、財政運営に力をそそぎ、安定した財政基盤の維持と健全な財政運営に努められてきました。

また、これからの時代に対応できる村づくりについても、目標や課題を村民と共有し、行政課題

の解決に向けての対話を重視する姿勢が高く評価されています。

しかし、少子高齢化や人口の減少、地方の衰退化の時代を迎え本村も多くの課題を抱えているのが確かです。

村長は今期、第5次総合計画を樹立されました。その中に6つの重点項目の柱を立てて今後の本村の課題解決に取り組んでいる最中であり、

高い行政手腕に期待が高まっています。

そこで、3期目の出馬について大石村長の考えを伺います。

村長 村長2期目の任期も5か月余りとなりました。

この間、私は村長として

ての職責を果たすべく、1期目の就任から議員や村民の皆さんから協力をいただきながら、村政の責任者として職員とともに汗を流し、村行政を推進してきました。

2期目は開村80周年記念事業や、第5次総合計画の策定など、村の歩んできた歴史を尊重し、未来につながる新たな想いを強くしながら様々な行政課題にあたってきました。

先達者が築き上げてき

た行財政基盤を礎にしなから、子育てを支える環境づくりや持続可能な農業の振興など、一定程度の取り組みは進められてきたと考えています。が、私に対する評価については議会をはじめ村民の皆さんが冷静に判断されるべきものであると考えています。

これからの社会は地域が縮小し、人口構造が変化していく時代へと移行変わろうとしています。こうした時代の変化を意識しながらも本村の持つ優位性を活かし、子ども達から高齢者までの全村民がこの地域で安心して暮らす、そして、力強い酪農を推進する中で地域の魅力や誇りを感じられる、存在感のある村づくりを進めていかなくてはならないと考えています。

私は村長の改選期を迎えるにあたり、これらの政策課題に引き続き立ち向かうことを決意しました。村民の皆様のご理解を賜り、3期目の村長選の立候補をここに表明します。

第5次総合計画に掲げる「未来を奏てる鶴居スタイルの確立」の実現に向け、人材の確保も含め新しい時代へ繋げる重要な時を迎えていると考えており、村民の皆さんや鶴居村を応援していただける全ての方々と手を携えた村づくりを推進していかなくてはならないと考えています。

私は村長の改選期を迎えるにあたり、これらの政策課題に引き続き立ち向かうことを決意しました。村民の皆様のご理解を賜り、3期目の村長選の立候補をここに表明します。



あきさとひろし 秋里広志 議員



3期目の立候補を表明した大石村長



まつい ひろかず 松井洋和 議員

テレワークやサテライトオフィス誘致を

村長 村の優位性を活かし誘致を検討

松井

比較的小規模の企業誘致として、テレワークやサテライトオフィスなどが注目を集めています。これはネットワークを使って企業が地方にオフィスを構える取り組みで、ネットワーク環境が整っていき、気候も良く空港も近い鶴居村は、やり方次第で十分誘致できるのではないのでしょうか。受け入れ態勢をしっかりと整え誘致に力を入れてはどうですか。

村長

来年の東京オリンピック開催に向け、2000社以上の首都圏企業がテレワークを試行しており、北海道もこれらのニーズを取り込み、サテライトオフィスなどを活用した遠隔地域テレワーク拠点の誘致を進めています。企業の優位点は、社員が効率的に時間を活用できることにあり、災害が発生した場合のリスク回避にもつながり、さらにコストの削減や潜在的人材へのアプローチにも期待が持てます。その一方で、企業にとっても負担や労力がかなり、企業の負担となる部分を自治体が支援することにより、企業誘致の可能性は広がると考えます。本村は、釧路空港へのアクセスが良好なことや道東自動車道の整備が進んでいることにより、首都圏や道央地域を結ぶ交通条件が優位にあり、



都会から鶴居のオフィスで仕事を

ワイン品種の調査研究を

松井

昨年収穫したブドウで醸造した鶴居産ワイン「クロンヌルージュ」が発売される頃だと思っています。そこで、現在の品種は赤ワイン品種の「山幸」ですが、今後の展開として白ワインや他の赤ワイン品種の調査研究を、行政のみならず意欲と能力のある民間と一緒に進めたいかがでしょうか。

松井

情報発信を強化し、スピード感を持って進めてほしい。

村長

道庁と連携し外部からの情報を精査する。

村長

昨年収穫したブドウ1700kgから750本ほどのワインが入荷する予定であり、その他に、

小中学生のスマホ利用は

吉田

現代社会では、パソコン、スマートフォン、ゲーム機などの電子メディア、インターネットのない社会は考えられません。報道によると、道内でもスマホの普及で犯罪被害の低年齢化が進んでおり、SNSを介した被害者は、小中学生も年々増加しています。先の報道ではSNSで誘い出される誘拐事件がありました。

▽スマートフォンなどの情報機器を「上手に使う」という観点から、学校と連携して児童生徒への指導や保護者への啓発に取り組んでいきます。

▽家庭における使用時間や使用場所のルール設定の推進。
▽フィッシング利用の働きかけ。
▽情報モラルや情報リテラシーを高める指導。

に努めてきたところで、

また、村内全域に高速通信網が網羅されていることや気候が冷涼であるなど、一定程度の条件は備えていますので、今後本村の優位性を活かす誘致の方策を検討したい。

教育長

鶴居村生徒指導研究協議会が昨年12月に行ったアンケート結果では、スマートフォンまたは携帯電話を所持している割合は、小学生では29%、中学生では57%で、

地域交流施設計画の今後は

村長 意見を幅広く伺いながら

吉田

中心市街地活性化アンケートの調査結果から、この整備計画が進められ、6月にコンセプトデザインが示され、建設予定地、建設予定金額などの説明を受けたところです。この後、内容の議論をされるかと思っております。早々と新聞報道されました。

村長

市街地をにぎわいのある場所にする必要がある。意見が多数を占めたことなどを踏まえ、地域住民

が気軽に集い、交流空間を確保できる施設機能の検討を庁内で行ってききました。また、施設の機能や運営方法を地域住民皆さんの考えや意見を幅広く確認したいと考え、村内関係団体との意見交換や女性団体連絡協議会を通して村内女性の方々にこれらの内容を伝えて

きたところです。現段階では、施設の整備内容を確認しているものではなく、施設の管理運営面も含め、広く意見を伺いながら構想内容を取りまとめたいと考えています。

吉田

村民が望んでいるものと構想が違うのでは。決定された事後にはないのだから、今後皆さんと検討する。

村長



地域交流施設のコンセプトデザイン



よしだ やすひろ 吉田保博 議員



あづま たかゆき 東 隆行 議員

中幌呂分譲地の販売は

村長 完売できるように努力する

東 平成14年10月より販売された中幌呂分譲地ですが、6区画のうち4区画が早くに売れ、2区画が残っている状態です。

17年経過していますが、今後どのような方向で進めていくのか伺います。

村長

幌呂地域の活性化を目的に

造成した中幌呂地区分譲地は、平成14年に6区画の分譲を開始し、現在まで4区画が販売済みとなり、3世帯が定住されていますが、平成23年から直接的な土地譲渡による

販売は行われていない状況となっています。今日までの分譲地販売の取り組みは、パンフレットや村ホームページ、新聞広告などへの周知のほか、関東、関西圏での移住フェアへの参加などを行っています。現在、分譲地に関する問い合わせは、希の杜団地に関するものが中心ですが、このような機会を通じて中幌呂分譲地につ

いても周知しており、現地在案内するなどの対応も随時行っています。今後、分譲地の販売価格の見直しも検討しながら、引き続き定住促進に向けた分譲販売を継続していきたいと考えています。

東

早期の販売に期待している。

村長

完売できるように努力する。



完売したい中幌呂分譲地

表紙の写真



幌呂小学校開校100周年

11月24日(日)に行われた幌呂小学校開校100周年記念式典と祝賀会の一コマです。

下段は、幌呂小学校と幌呂中学校の児童生徒による「幌呂の歌」の合唱のときの写真です。

上段右が児童代表の武藤里沙子さんがあいさつをしている写真です。上段左が歴代校長・歴代PTA会長への感謝状贈呈式の写真です。

この「幌呂の歌」は100周年に向けて幌呂の皆さんとヒーロボイスさんが作りました。心に残ることも素晴らしい歌です。

地域公共交通網では全庁的な協議体制を

村長 庁内に連絡調整会議を設置

及川 高齢者等個別移送サービス、各種の村内循環バスの利用体系などまだ細部が示されない内容となっています。

次年度以降も引き続き協議が進められ、サービスが開始されますが、高齢者だけでなく、住民が今後も安心して鶴居村に住み続けるためには非常に重要な政策と考えます。多くの関係者の参加も

もちろんですが、役場内部でも全庁的な協議体制が必要であると考えます。が村の見解を伺います。

村長

地域公共交通プランの中で

「幌呂線のデマンド化」や、その後に計画する村内の交通体系の確保に向け、国などの支援を受ける必要があるため、法定の協議会である「地域公共交通会議」を設置し、地域公共交通プランで取

りまとめる内容を基本的に策定する予定です。年明けから関係各所や利用者など、様々な分野の幅広いご意見をいただき協議を重ね、庁内にも連絡調整会議を設置して、より横断的な連携を図りながら計画策定に努めていきます。

及川

住民説明

会で、もう少し詳細な説明が欲しかった。村長 より具体的な数字なども含めた説明を行っていきま

村長

より具体的



新たに就任された村上教育長

新教育長の教育方針は

及川

新しく就任された村上明寛

教育長には、村民の大きな期待がかかっています。今後の教育行政の推進にあたって留意していることや課題など、教育長自身の今後の教育行政の運営方針や個々の課題への対処などについて伺います。

教育長

子供たちが

と鶴居に誇りと愛着をもち、地域を支える人材として、また、社会の様々な分野で活躍できる人材として大きく成長していくことができるよう、学校・家庭・地域・行政が

さらに、鶴居村の美しい自然やタンチョウなどの貴重な地域資源の教育への活用を進めるなどして、人づくりや地域づくりに取り組んでいきたいと考えています。

子どもの権利の見解は

及川

保育内容の充

は、子どもたちの権利の扱いが保育方針に大きく関わっています。子どもとはいえ、その多様性を理解しその権利を保証しなければならぬと考えます。村の子どもの権利についての見解を伺います。

それぞれの子どもを尊重した保育活動を行っており、また、障がい児についても保育士を加配するなどの配慮を行っています。

これら日々の保育活動は、「生きる権利」や「育つ権利」、「守られる権利」や「参加する権利」を意識せずとも、日本国憲法に定める基本的人権を尊重するという観点から、当然の対応であると考えます。

村長

「子どもの権利」の保障に

ついて、村保育園では、

は、当然の対応であると考えます。



おいかわみちひろ 及川満浩 議員



さとうよしひと 佐藤吉人 議員

村長

自転車コースへの看板の設置については、利用者の快適で安全な走行環境づくりの観点などからも有効なものと考えており、道路管理者などの関係機関と連携しながら、設置の可能性について模索したいと考えています。

佐藤

最近、本村でリズムが注目されています。すでに村内にコースが設定され、すでにツアーも開催されているとのこと。

また、釧路湿原キラコタン岬にも多くの観光客がツアーで訪れています。そこで、自転車コースに距離表示を掲載したカントリーサイン看板の設置と、来訪者が増加しているキラコタン岬の入口トイレの改修が必要と考えますが、村長の見解を伺います。

また、昨今のキラコタン岬利用状況を見ると、年間約3500人の実績があり、今後もさらに利用者の増加が見込まれます。

みなくるの展示物見直し

佐藤

常設展示施設としての「21世紀の酪農」をイメージした理想の牧場ジオラマがありますが、今では未来を感じさせるジオラマとは言えない状況になってきています。展示物の見直しをどのようにするか。

教育長

常設展示室は、年間1000人程度の利用があります。来館者にとってより良い情報提供ができるよう、展示の在り方などについて不断に見直し、必要に応じて展示・解説の創工夫や展示物の更新を行ってまいります。

簡易軌道を動かしては

佐藤

軌道車両を動態保存に向けて、仮称「夢動かせプロジェクト」として提案します。

簡易軌道シンポジウムの盛況ぶりを考えると、ますます産業遺産、観光的活用を強く感じていますので、理事者の考えを伺います。

村長

次の世代へ引き継ぎたい「宝もの」として選ばれたものであり、貴重な地域資源として後世に伝えていくとともに、観光などへの活用が期待されると認識しています。

教育長

約150人の参加を得て簡易軌道シンポジウムを開催し、簡易軌道がかつて存在した自治体の連携を深めるうえで、貴重な機会とすることができました。関係自治体と協力を構築し、全道的な簡易軌道の歴史伝承・活用に向けて取り組みたいと考えています。



動かして乗ってみたい鶴居簡易軌道

約150人の参加を得て簡易軌道シンポジウムを開催し、簡易軌道がかつて存在した自治体の連携を深めるうえで、貴重な機会とすることができました。

関係自治体と協力を構築し、全道的な簡易軌道の歴史伝承・活用に向けて取り組みたいと考えています。

キラコタン岬のトイレ改修を

村長 関係機関と協議し検討

牧草被害対策として鹿柵設置を

村長 設置は難しい 捕獲を徹底したい

松井

近年、エゾシカの食害が各地で発生し、牧草収量低下の大きな要因となっています。

村内の、ある農場では過去3年間で10アールあたり約4トンという被害量の調査結果があり、JAによるエゾシカ食害へのアンケートでは、98%の人が「最近、牧草食害が増えている」と実感し、

78%の人が「鹿の食害で困っている」と答えており、その被害が村全域に広がっていると実感しています。

今後、村が食害による牧草収量の減少がどれくらい農家経済に損失を与えているのかを正確に調査し、その上で防鹿柵の設置を検討してはと思いますが、村長の見解を伺います。

村長

野生鳥獣による農業被害は、村内全域におよぶ状況にあり、猟友会や野生鳥獣被害対策協議会の協力支援のもと、被害対策に取り組んでいます。が、本格的な解決には至っておらず、村としても苦慮する現状にあります。

この被害額は、村が毎年実施する被害調査の結果によるものですが、回答率が20%程度なので、実際の被害額はさらに大きいものと考えています。正確な調査については今後、調査方法の改善に努めたいと考えています。

昨年度の全村の農業被害額は8000万円にのぼり、その内、エゾシカによる牧草被害が7950万円となっています。



まつい しゅんじ 松井俊治 議員



エゾシカの侵入を防ぐ鹿柵

松井

鹿柵が難しいのもでも検討して欲しい。

村長

関係機関と協議し模索したいと考えています。

議会だよりは要約されています。臨場感ある本会議場へお越しく下さい。議会の傍聴お待ちしております。次回定例会は3月10日(火)10時~役場2階(予定)



議員 研修会

釧路町村議会議員研修会

こんなことを勉強しました



釧路管内の町村議員が集まり鶴居村で研修

11月19日に鶴居村総合センターで釧路町村議会議員研修会を行いました。釧路町・厚岸町・浜中町・弟子屈町・標茶町・白糠町・鶴居村の議会議員が集まり研修しました。

鶴居在住の安藤誠さんから、釧路管内の自然の素晴らしさや自然との向き合い方、プロのガイドとしての自然の伝え方などを研修しました。

「自然はごまかさないと、嘘がない。」



釧路管内それぞれの魅力を語る安藤さん

道東の豊かな自然と人間について

北海道アウトドアマスターガイド
ウィルダネスロτζ・ヒツコリーウィンド
オーナー 安藤誠氏

鶴居在住の安藤誠さんという言葉がとても印象的でした。また、プロの写真家としても大活躍されており、捉えた奇跡の瞬間の話はとても興味深いもので、あつという間の1時間でした。

インターンシップでの採用は

村長 ルール上採用は難しい



おつやすのり 大津泰則 議員

大津 今後5年間は大きな変革の年となるように思っており、役場組織の在り方や職員個々の事務量などを考慮され、第2次の機構改革が進められていると思います。人口減少が進んでいく中で、将来的にしっかりと鶴居村を支えていってもらうためにも、インターンシップ制度を活用し、さらに地元採用を進めて欲しいと思います。考えを伺います。



役場でのインターンシップ制度の活用は

村長

現在の正職員数は定数に対して7人の減員となっています。また、来年度の職員採用は、定年退職者1人に対し、一般事務職で1人、保育士1人と管理栄養士1人の採用を予定しています。インターンシップ制度については、学生などに就業体験の機会を与えることで仕事内容の理解や適性を把握することができ、就職先の判断や学校からの円滑な就労に役立ち、受入れ側も、優秀な人材の確保などにつながるため、民間企業を中心に活用されています。職員の採用は、原則、地方公務員法の規定によって競争試験か選考の方法により平等の条件で行うものとされています。一般事務職は管内町村職員採用資格試験の合格者の中から面接試験を

経て採用者を決定し、専門職である保健師や看護師、保育士などについては論文と面接試験を基本として採用者を決めていきます。法の趣旨と公平性の観点からインターンシップからの直接的な採用は難しいと思います。また、本村の現状として制度に沿った受入体制の確立は困難であると考えられます。

ワインの今後の事業計画は

大津 今後はワインを貯蔵するワインセラーの建設やワイナリーの施設整備、そして、ブドウ畑の圃場の確保など、計画を立てて事業の推進を図る必要があると思います。考えを伺います。

村長 醸造用ブドウの栽培管理については、今年、ふれあ

すが、短期間の実習や就業体験の機会を提供することは、人材育成に寄与し、そして、村との関係人口の拡大などが期待できますので、今後検討したいと考えます。
大津 地元若者層を優先的に採用しては。
村長 ルールがあり、ますので難しいと思います。

北海道胆振東部地震の対応と観光振興について

釧路総合振興局 局長 山口修司氏

胆振東部地震発生時に胆振振興局長だった山口局長より、地震発生時からブラックアウト、その後の災害対応を実際に行った経験をもとに、安心・安全なまちづくりについてを研修しました。役場職員が足りず、さらに心身ともに疲弊して



災害発生時の対応を語る山口局長

いる状況にあるので、町村議会としても復旧作業などには十分理解することが大切であるとのことでした。また、釧路管内の食と観光を進めるアイデア・ヒントになる事例をわかりやすく示してもらったので大変勉強になりました。

幌呂保育園の統廃合にむけて

保護者の疑問や不安を担当課と意見交換しました。その内容を要約して記載します。



3月でお別れの幌呂保育園

12月4日に総務常任委員会を開催しました。

今回は、幌呂保育園に通っている園児の保護者が独自に行った、「幌呂保育園、統廃合にむけて」というアンケートの調査結果を受けて、総務常任委員会が担当課である役場保健福祉課と意見交換を行いました。

出席者
▽保健福祉課
高松課長
五十嵐課長補佐
佐藤保育園長
小林係長

▽総務常任委員会
委員長 吉田保博
副委員長 及川満浩
委員 秋里広志
委員 大津泰則
委員 松井俊治
オブザーバー 松井広道
議長 成田信
事務局長 成田信

「ルールや規律も大事だと思えますが、もう少し子供たちの言葉を尊重してもらいたい」というのは、子ども達が園生活をするためには、ある程度の指導は必要と思いいたいと思っています。行き過ぎた指導にはなっていないと思えますのでご理解願いたいと思っています。

「保育内容や行事内容に使い回しの部分がある」とについては、兄弟姉妹など何人か保育園に通うことになると、保護者としてはそう感じるのかもしれないですが、子どもにとってはそうではないと思っています。保育園としてご理解願いたいと思っています。

幌呂保育園の良さ

幌呂保育園の良さとして、「地域の人達との交流野外活動」などが挙げられていましたが、子ども達のことを第一に考えて、今後も可能な限り継続していきます。

引き続き行って欲しいと思う保育内容

幌呂と鶴居の2か所で行っている保育が一つにありますが、同じ園なので、これまでも同様の方針を継続していきます。また、「村内各地域に出かけての交流」についても、現段階では移動の手段など課題はあるが、前向きに検討したいと考えています。

「少人数だから育まれる子どもの優しさ」については、年長・年中・年少のクラス分けや縦割りグループ毎の活動を取り入れるなど、対応していきたいと考えています。

保護者の疑問や不安への回答は？

幌呂保育園での、残念に思えた点または改善してほしい内容や対応

要望や相談などは、新入園児説明会などで毎回実施し説明しています。オムツやおやつの問題については、すでに対応済みであり、今後はPRや周知の方法などについて検討し対応していきます。また、「運動会、お遊

2020年秋頃開園予定



統合後の4月から、または秋からの新施設に向けての疑問点

認可保育園になるのは、新施設になってからです。保育時間については、4月から7時～19時とする予定です。バスの時間や運行方法については、現行路線（下幌呂・幌呂）が下幌呂・鶴居と幌呂・鶴居となります。

認可保育園になるのは、新施設になってからです。保育時間については、4月から7時～19時とする予定です。バスの時間や運行方法については、現行路線（下幌呂・幌呂）が下幌呂・鶴居と幌呂・鶴居となります。

運行時間は、園児の保育時間帯や学校スクールバスなどの兼ね合いや車両台数のこともあり、現在検討中です。年度内のなるべく早い段階で示したいと思っています。

ないかと思われれます。今後、そういった子ども達にも気を配りながら工夫をし、実施することも検討していきます。

「夏休みや冬休みの期間の保育」については、預かり保育を実施しており、保育園は開園していません。

お昼寝の問題については、保育（登園）時間などによっては、必要な子どももいるので、昼寝時間には必要と考えています。

「保育料の無償化など、大切な連絡が遅い」ことについては、報道が先行し、国や道からの正式通知との間に時間差が生じることから、ご理解願いたいと思っています。

「園児への授業」については、過去は何処の保育園でも対応していませんでしたが、現在は薬が飲めることを条件に対応しています。

行事内容や意義について子ども達が理解して実施できるように考えていきたいと思っています。

「地域間で通いやすさなどの格差がないように」とについては、地域的な格差はないのが当然のことであり、現在も同様に保育事業を行っています。これから認可保育園になることによって、一定の基準での保育となるので、その中で鶴居村らしさや特性を活かした保育を実施したい。

「規模が大きくなれば規則で枠を作らなければ収集がつかなくなることも承知するが、規則を盾にして、柔軟さの乏しい園にしないほしい」というのは、保育園（施設）の運営上、運営規則は作らなければなりません。ソフト面では規則で縛るのではなく、保育士の柔軟な考えで対応したいと考えています。

世界的な自然環境地キラコタン岬

産業
常任委員会

11月18日に産業常任委員会を開催しました。今回は、近年釧路湿原を訪者に人気のスポットで、村内事業者やNPO事業者のツアー地としても大変人気のある湿原の景勝地「キラコタン岬」を訪れました。

見る観光地という観点ではなく、世界的自然資源を有する地という観点で調査しました。水の循環を通じた環境保全や野生動物との遭遇もあり、さらにトイレ改修についても視察しました。

出席者

▽産業常任委員会

委員長	佐藤吉人
副委員長	松井洋和
委員	松井俊治
オブザーバー	松井広道
議長	成田 信
事務局長	田中聖馬



キラコタン岬の先端で



キラコタン岬の入り口 岬の先端まで2km



チルワツナイ川の曲流部分のアキアジ沼
ここから大量の湧水が出ている



写真ではわかりにくいですが、笹が生えている所と生えていない所が湿原の境界線です

意見交換しませんか？

議会では、広く村民と意見を交換する機会を設けています。希望される方（団体やグループなど）は、議会事務局までお問い合わせ下さい。
議会事務局 0154-64-2511



キラコタン岬の先端から見る天然記念物「釧路湿原」



見事な苔の生えた原生林の切り株

国土地理院の釧路湿原の地図をみると2つの岬が表示されています。その一つが当時の地主さんの名前をつけた「宮嶋岬」であり、もう一つが「キラコタン岬」です。今から約6千年前には海（古釧路湾）であり、ゆえに岬と命名されています。岬先端までは約2kmです。

コース途中の村有林のカラマツ林や自然林のミズナラ、そして原生林の切り跡やチルワツナイ川の曲流部分のアキアジ沼があり、岬先端からは茫漠と広がる釧路湿原の光景が見えてきます。

まさにここが水の惑星と呼ばれる地球の原点を感じられる世界的環境体験地域です。

常任委員会

常任委員会

北海道の頑張っている地域に学ぶ

その地域ならではの取り組みを学び、活かす！

北竜町をデザインで 活性化するプロジェクト

北竜町

北竜町はひまわりが有名な人口約1800人の町です。
ひまわりの里の来場者の増加や日本農業賞大賞を受賞した「ひまわりライス」を始めとする特産品の順調な販売、さらにふるさと納税の寄附金など、より北竜町をアピールしていくために、町をイメージしたロゴマークを作成しました。
そのデザインは、著名なデザイナー梅原真氏に依頼し、観光ポスターや

各種PR用パンフレット、名刺や公共施設の掲示などに活用しています。
また、順調に推移しているふるさと納税の返礼品として、好評を得ているひまわりライス「ゆめぴりか」の贈答用米袋などに使用しています。
シンボリックなひまわりを使わない手法となっていますが、ひまわりの黄色を使うことで、とても印象に残るデザインになっています。

▷デザインで活性化する



ひまわりを使わないデザイン



ふるさと納税返礼品用の米袋

▽鶴居村営軌道6トン ディーゼル機関車

遠軽町

森林蒸気機関車「雨宮21号」を動態保存している遠軽町の丸瀬布いこいの森を訪れました。
ここには鶴居村営軌道6トンディーゼル機関車が動態保存されています。



動く北海道遺産「雨宮21号」



かつて鶴居村を走っていた
鶴居村営軌道6トンディーゼル機関車

▽「まるごとかみふらの」の取り組みと

まるごとかみふらの プレミアムビール

北海道遺産「土の館」 上富良野町

上富良野町は、北海道のほぼ真ん中に位置する人口約1万8000人の町です。今回は、「まるごとかみふらの」の取り組みを研修しました。
上富良野町は道内唯一のホップ生産地です。また、日本唯一のホップとビール両方の生産地で、サッポロビールと歴史的な深いつながりがありました。
平成18年に産業団体の長が集まる宴席で、「上富良野100%のビールを作って飲むべ」となり、サッポロビールに作ってもらうことになりました。

ト用だけでしたが、地元の人誇りに思う地域ブランドにするため、行政を事務局とした実行委員会を組織し、飲食店用の樽生ビールや小売り用の瓶ビールを作り、「まるごとビアガーデン」の開催などPRに力を入れ、この町だけの地域ブランドに育てていきました。

上富良野町は、90年前の十勝岳大噴火により、硫酸を含んだ強酸性の泥流土が50cm〜2mも積もり、当時144人が亡くなり800haが被災しました。泥流の上に数年かけて土を乗せた結果、現在は花が咲き乱れるほどの土地となりました。



土の館には昔からのプラウが展示



神秘的な「青い池」

美瑛町

▷青い池

「青い池」は最近人気の出た観光スポットです。
十勝岳の火山泥流災害を防ぐため、美瑛川本流に建設された砂防ダムのひとつに偶然水が溜まったもので、水に含まれる水溶性アルミニウムなどの影響で青く見えるそうです。



上富良野町だけの夏の風物詩

「土の館」はその歴史を伝え、農業に使う土と耕すことをテーマにした博物館です。



110年前の蒸気トラクター

出逢いと感動の 鶴居村

住民の声

ウィルダネスロッジヒッコリーウインド
ネイチャーガイド やまだ かな 山田佳奈さん



豊かな自然と心から美味しい食べ物、おらかな人が多いと言われる北海道に生まれ29年。私は今、鶴居村のウィルダネスロッジヒッコリーウインドという宿でオーナー安藤誠氏・忍氏の下でネイチャーガイドとして働いています。

安藤氏は北海道知事認定のマスターガイド(自然分野)であり、プロのカメラマン。一言で言い表すことはとても難しい多才な漢でもあり、人生における私の師匠です。私は釧路で生まれ育ち、短大・専門学校で保育と介護を学びました。介護福祉士として約8年勤め、ネイチャーガイドとは程遠

い生活。釧路と鶴居村という近い距離ではありましたが、「ヒッコリーウインド」「安藤誠」という存在を全く知りませんでした。もともとドライブが好きで、大好きな森山直太郎の曲を聴きながら道内を走り回る、そしてそこで出逢う自然に興味を持つようになりました。

自分の目の前にある木や草花、小鳥たちの存在。彼らの名前は？どのような人生を送るのか？自然のことなど何も知らない情けなさと同時に、かつての私の心を癒し、助けてくれた自然を知りたい、学びたいという気持ち溢れてきたのです。家族でキャンプや探検をしていた子どもの頃の記憶に再びそっと火が付いた瞬間でした。それから北海道知事認定のガイド資格があるということを知り、ネイチャーセンターなどに足を運ぶもピンと来ず…。間もなくして偶々手に

した釧路のフリーペーパー「フィールドノート」に掲載された安藤氏の人生の哲学に出逢ったのです。

それはあまりにも私の心を惹きつけ、強く心に残るものでした。

自然の知識云々ではなく、自らが生きていくうえで核となる揺るぎない信念と志。有限な時間は皆平等で明日自分が死んでしまっただなんて考えて生きている人はいないと思います。私たちに与えられた時間は無限ではないのです。そして大切なことは「本物に触れる」ということ。目に見えるもの、目に見えぬもの、色々ありますが自然界には嘘がありません。野生の動物たちや草花木は皆、生きることに一所懸命でいつも本気です。その逞しく生きている姿はとても美しく感動させられます。

安藤氏に出逢い、人生が変わった人は数えきれない程いますが私もその一人です。2018年にネイチャーガイドの資格を取得し、昨年1月末よりヒッコリーウインドのスタッフとして働かせていただいています。世界中から美しいタンチョウを観たいとたくさんの方が訪れる鶴居村。北海道や鶴居村の歴史、自然や動物たちのことなどまだまだ勉強中ですが、命の奇跡が溢れる素晴らしい鶴居村でヒッコリーウインドのネイチャーガイドとしての道を歩み、日々精進していきたいと感じます。出逢いと感動で自分の人生が変わったように、私自身のヒッコリーウインドでの活動が誰かの夢や希望、前に進む力となれたら嬉しいですね。

鶴居村には大先輩が沢山いますが、大先輩たちの背中を追いかけながらこれからの鶴居村の未来へ貢献していきたいです。人生の宝ものように。なご縁と鶴居村の人と自然に感謝を込めて。



発行責任者 議長 松井広道
委員 長 松井洋和
副委員長 松井俊治
委員 吉田保博
委員 佐藤吉人



間伐と間伐材の有効利用を促進して健全な森づくりに貢献します。